

(2) 令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 東京都立小金井北高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成

副校長、主任教諭（教務主任）＝事務局長、経営企画室長、事務担当 計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生徒主任、進路主任、保健主任、総務主任 計8名

(4) 協議委員の構成

保護者代表、同窓会代表、地域住民代表（小金井市小中学校PTA連合会会長）、近隣中学校長、有識者（東京学芸大学、法政大学）2名、関係機関等（小金井警察署、小金井市教育委員会、小金井市生涯福祉センター）3名 計9名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催

第1回 令和3年6月17日(木) 内部委員8名、協議委員8名

協議委員の委嘱、委員紹介、学校経営報告、学校経営計画、学校評価アンケート結果、組織目標に対する各分掌の概要説明

第2回 令和3年10月7日(木) 書面による開催に変更

第1回授業評価結果、学校評価アンケート、組織目標に対する取組状況、9名の協議委員から意見回答票の提出

第3回 令和4年3月3日(木) 内部委員8名、協議委員6名

令和3年度学校評価アンケート実施報告、内部委員からの組織目標に対する成果と課題の報告、協議委員アンケート

(2) 評価委員会の開催

第1回 令和3年10月7日(木) 書面による開催に変更

学校評価アンケートの設問内容

第2回 令和4年3月3日(木)

令和3年度学校評価アンケート実施報告

3 学校評価アンケート

(1) 学校評価の観点

学校経営計画の達成状況を学校運営、学習指導、特別活動、生活指導、進路指導、保健指導等

(2) アンケートの対象及び実施時期

対象者	対象者数	回答数	回答率	実施時期
在校生	704名 (①243, ②243, ③227)	659名 (①228, ②226, ③205)	93.6% [87.9%]	12月
保護者	713名	523名 (①196, ②184③143)	73.4% [74.3%]	10～11月
教員	40名	40名	100.0% [100.0%]	11月
来校者		400名 [599名]		10・11月

※平成31年度以降は学校説明会での来校者を対象に実施

※保護者はClassiを利用した回答434、紙回答89

(3) アンケートの評価項目

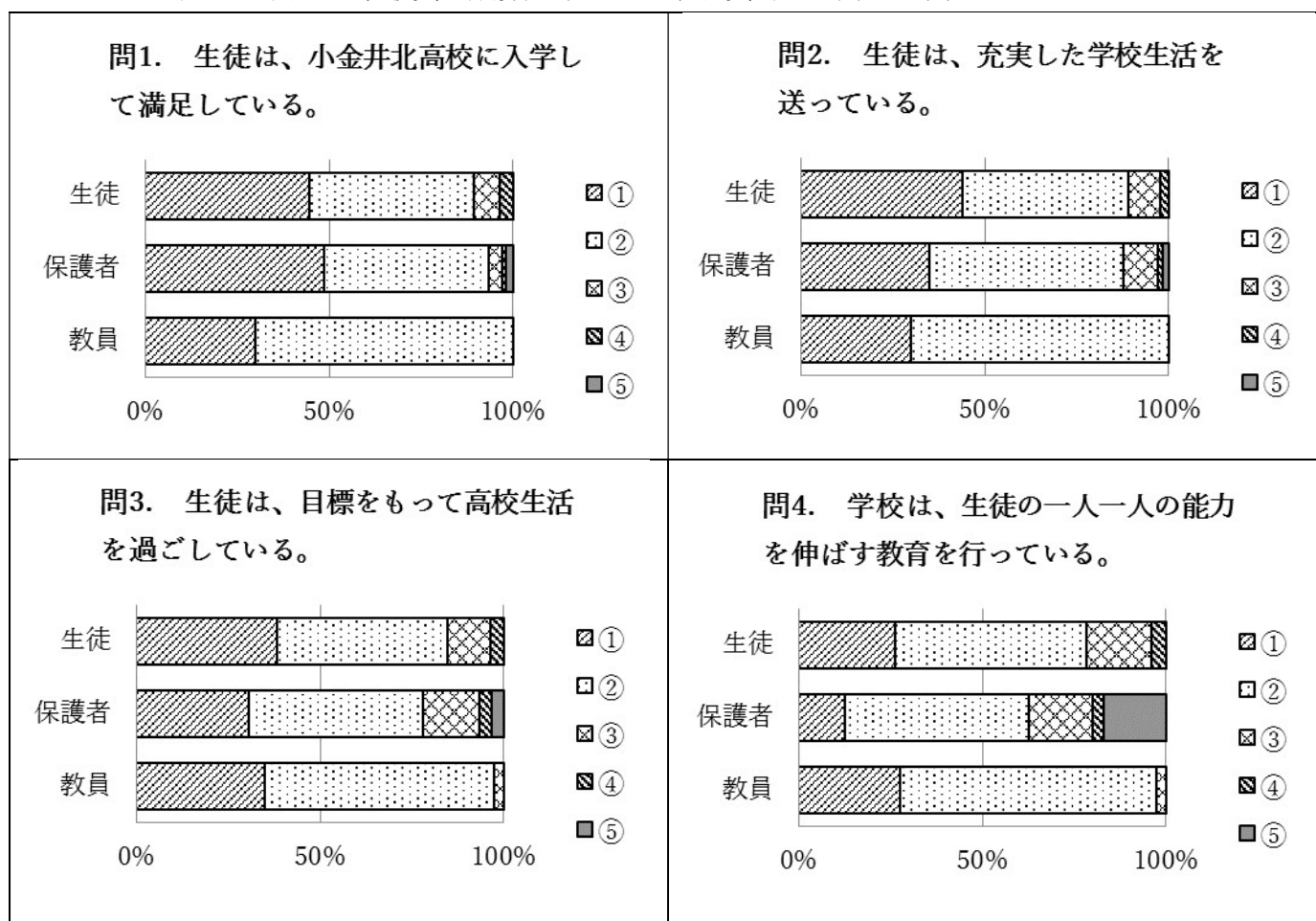
- ① 学校運営 入学満足度、学校生活の充実度、目標意識をもった生活、能力伸長の教育実践、適切な情報発信、施設設備の整備、働き方改革の取組(教員及び一部保護者対象)、評価できる教育活動(複数回答)
- ② 学習指導 授業満足度、評価できる学習指導(複数回答)
- ③ 特別活動 人間性の育成、部活動満足度、学習と部活動の両立、評価できる学校行事(複数回答)、評価できる部活動(複数回答)
- ④ 生活指導 マナー・ルールへの遵守、いじめに対する取組、体罰・暴言のない指導、安全指導・防災教育、適切な生徒指導
- ⑤ 進路指導 第一志望の支援、進路情報の提供、評価できる進路指導(複数回答)
- ⑥ 保健指導 教育相談の環境整備、健康管理指導、衛生・清掃状況、清掃が行き届いていない場所(複数回答)

(4) アンケートの結果

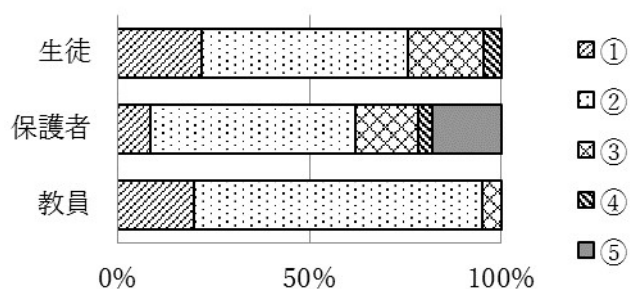
問1～問22 生徒・教員は4段階で、保護者・来校者は⑤を含めた五つの選択肢から回答する。

①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない

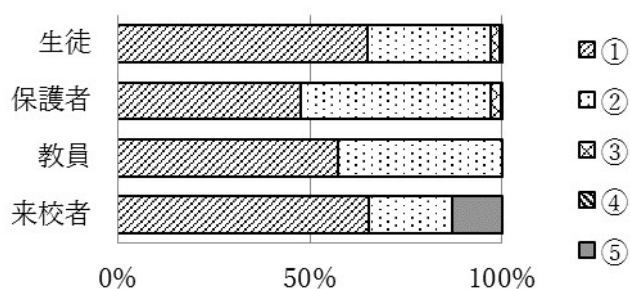
※ 問21と問22は、教員と保護者(P T A運営委員会参加者)を対象に実施



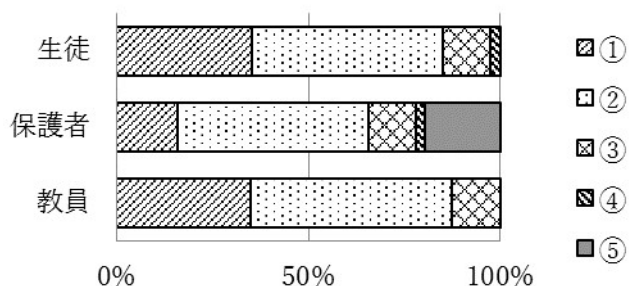
問5. 生徒にとって、満足できる授業が多い。



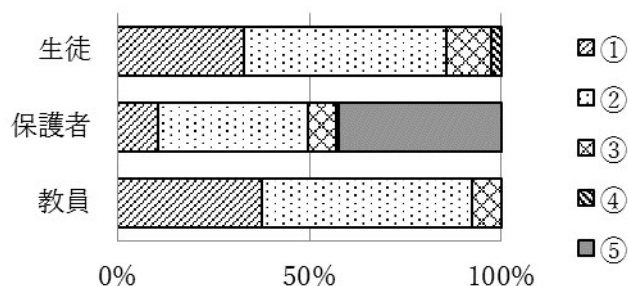
問6. 生徒は、日常生活のマナーや社会のルールを守っている。



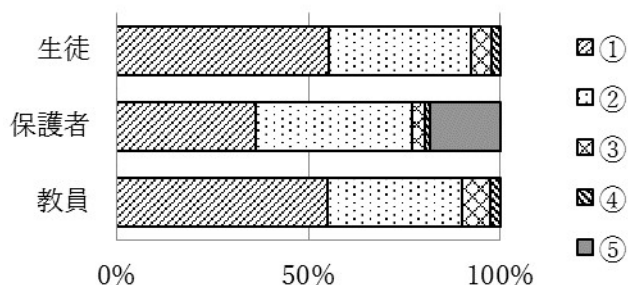
問7. 学校は、生徒の悩みや相談に応える環境が整っている。



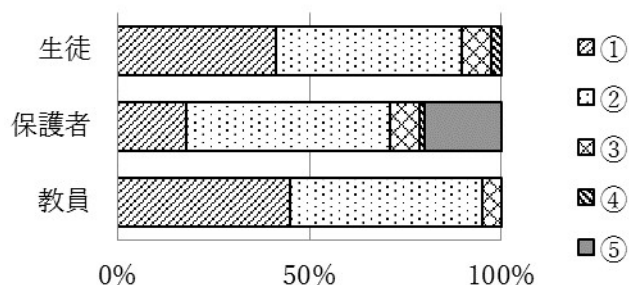
問8. 学校は、いじめの未然防止や早期発見に組織的に取り組んでいる。



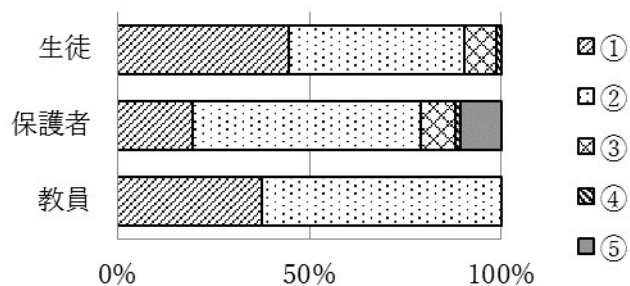
問9. 学校は、体罰や暴言等のない指導を実践している。



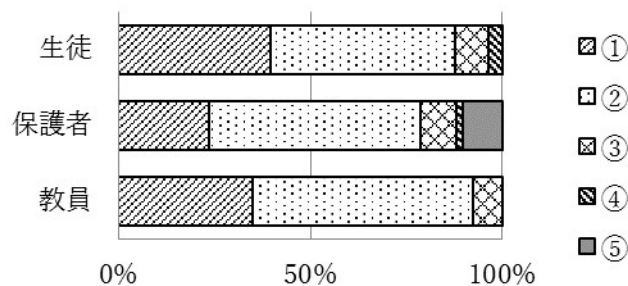
問10. 学校は、生徒の第一志望の実現を支援する進路指導を行っている。



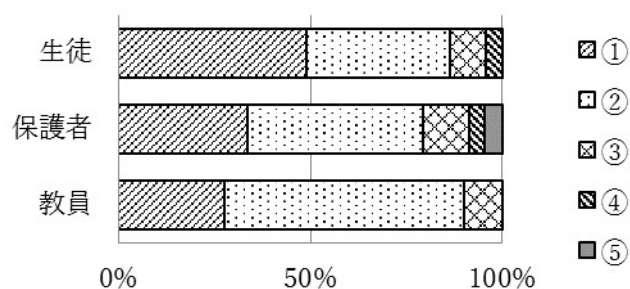
問11. 学校は、進路に関する情報を十分に提供している。



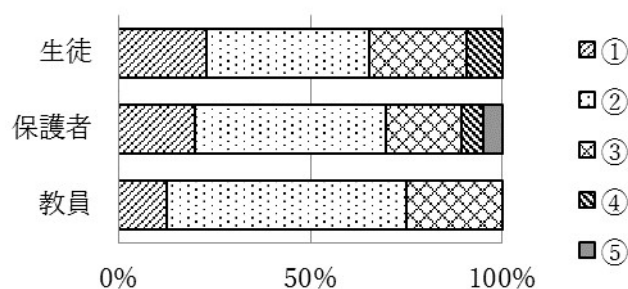
問12. 学校は、学校行事を通じて個性豊かな人間性を育てている。



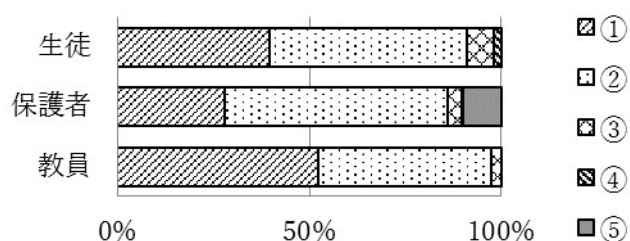
問13. 生徒は、本校の部活動に満足している。



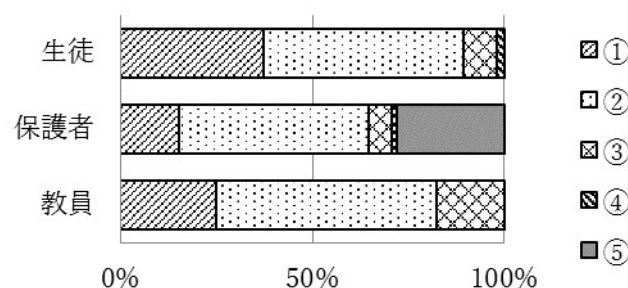
問14. 生徒は、学習と部活動の両立ができている。



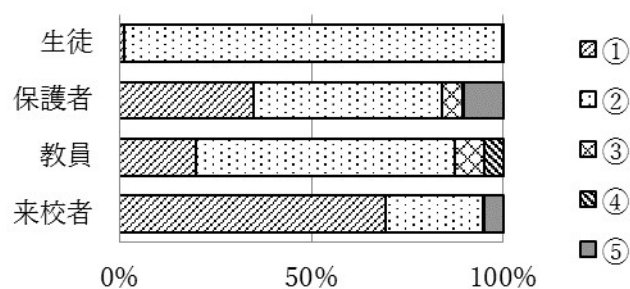
問15. 学校は、保健室やHR等を通して健康管理に関する指導を適切に行っている。



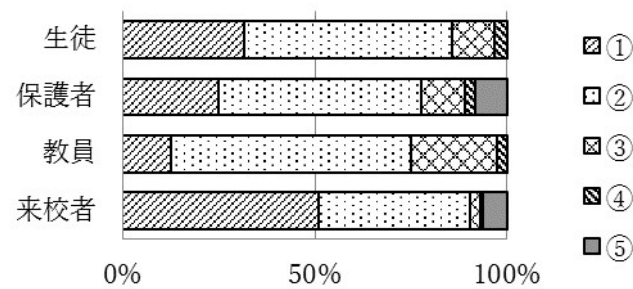
問16. 学校は、安全指導や防災教育を適切に行っている。



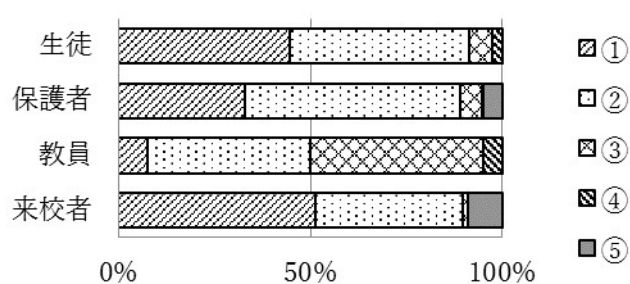
問17. 学校施設内の衛生状況・清掃状況は良好である。



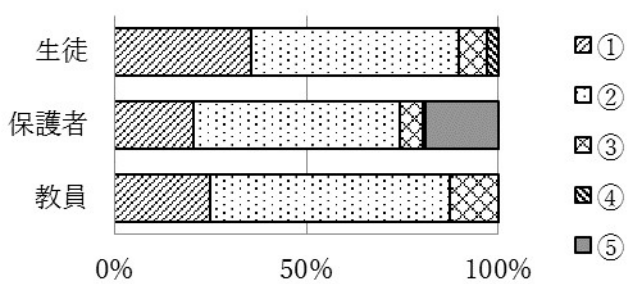
問18. 学校の情報は、Webページなどにより適切に発信されている。



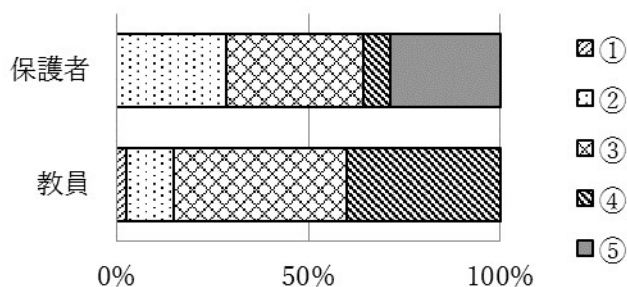
問19. 生徒にとって、学校の施設・設備などは整っている。



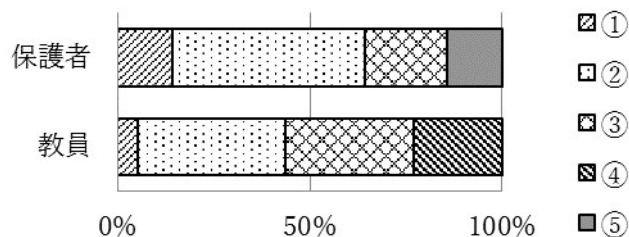
問20. 学校は、生徒と向き合い、適切な生活指導を行っている。



問21. 国や都が働き方改革に取り組んでいることに一定の成果がある。

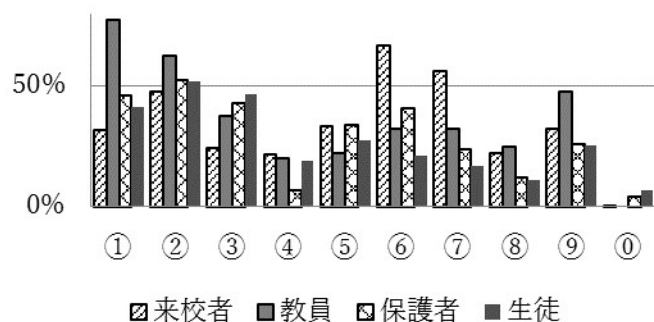


問22. 各種会議の時間短縮を心掛け、教職員の在校時間の縮減を図っている。



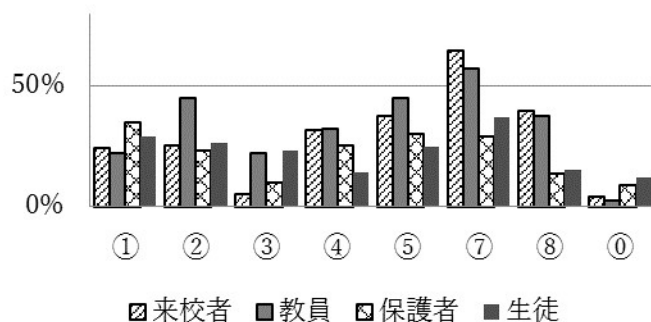
問 23～問 28 複数回答によって回答する。

問23. 教育活動の中から、評価できるものを選んでください。



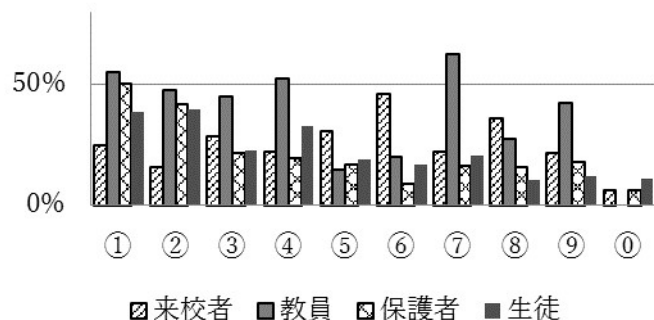
①授業 ②学校行事 ③部活動 ④生徒会・委員会活動 ⑤校風・伝統 ⑥進学指導推進校 ⑦英語教育推進校 ⑧理数研究校 ⑨東京学芸大学との高大連携 ⑩評価できるものはない

問24. 学習指導などの中から、評価できる項目を選んでください。



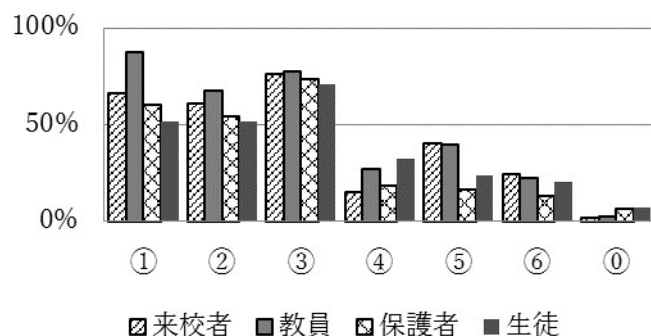
①2年生の選択教科 ②3年生の選択科目 ③体育の少人数授業 ④習熟度別授業 ⑤講習・補習 ⑦J E Tによる英語指導 ⑧自主学習支援アドバイザー ⑩評価できるものはない

問25. 進路指導の中から、評価できる項目を選んでください。



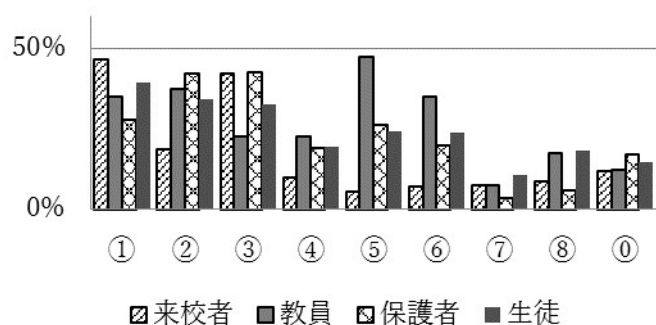
①各種ガイダンス・進路だより ②進路の手引き ③休業中の講習 ④面談指導 ⑤模擬試験に基づく指導 ⑥スプリングセミナー ⑦受験体験講話 ⑧大学模擬授業 ⑨外部映像教材 ⑩評価できるものはない

問26. 学校行事の中から、評価できる項目を選んでください。



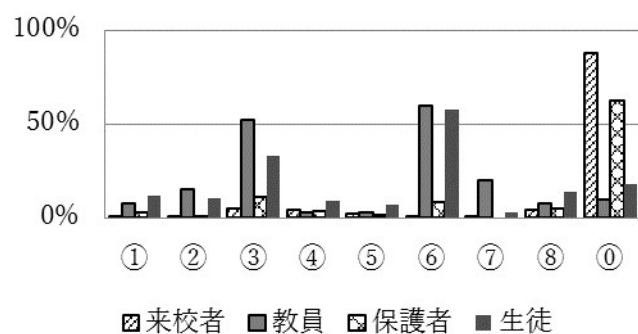
①合唱コンクール ②体育大会 ③桜樹祭 ④球技大会 ⑤修学旅行 ⑥校外行事 ⑦評価できるものはない

問27. 部活動で、評価できる項目を選んでください。



①種類の数 ②活動日数 ③活動時間 ④休日の活動 ⑤顧問の指導 ⑥コーチ等の指導 ⑦合宿 ⑧大会の結果 ⑨評価できるものはない

問28. 施設の中から、清掃の行き届いていない場所を選んでください。



①ホームルーム教室 ②特別教室 ③廊下・階段 ④生徒昇降口 ⑤体育館・剣道場 ⑥更衣室 ⑦職員室・準備室 ⑧トイレ ⑨どこも清掃が行き届いている

(5) 結果の考察 数値は肯定的な割合〔昨年度の割合〕、《保護者・来校者の「分からない」割合》

① 学校運営

- ・「入学満足度」は、生徒 89.6% [85.3%] は微増で高く、保護者 93.4% [88.9%] は微増で非常に高い。教員 100% [97.6%]。
- ・「学校生活の充実度」は、生徒 88.9% [87.8%]、保護者 87.8% [84.1%] はともに高い。教員 100% [100%]。
- ・「目標意識をもった高校生活(生徒は自己評価)」は、生徒 84.8% [83.2%] は高く、保護者 78.0% [74.2%] も比較的高い。教員 97.5% [97.5%]。
- ・「能力を伸ばす教育の実践」は、生徒 78.4% [73.0%] は微増で比較的高く、保護者 62.7% 《16.8%》 [56.2% 《18.5%》] は微増でやや高くなった。教員 97.5% [85.4%]。
- ・「適切な情報発信」は、生徒 85.9% [85.8%] と高く、保護者 77.6% 《8.2%》 [74.2% 《7.5%》] も比較的高い。来校者 90.5% 《6.3%》 [87.5% 《10.3%》] と非常に高い。教員 75.0% [74.2%]。
- ・「施設設備の整備」は、生徒 91.5% [90.1%] は非常に高く、保護者 89.1% [87.0%] 及び来校者 89.8% [91.2%] も高い。教員 50.0% [53.7%]。
- ・働き方改革の取組に関しては、「国や都の取組成果」は保護者 28.6% 《28.6%》 [50.0% 《15.0%》] と激減し比較的低い、教員 15.0% [31.7%] と減少し低い。「在校時間縮減の取組」は保護者 64.3% 《14.3%》 [60.0% 《30.0%》] とやや高かったが、教員 43.6% [51.3%] 微減し半数に届いていない。
- ・「評価できる教育活動」では、生徒の評価は(1)学校行事 52.0% [(3)39.0%]、(2)部活動 46.7% [(1)45.0%]、(3)授業 41.4% [(2)39.7%] の順であった。保護者の評価は(1)学校行事 52.4% [(6)27.2%]、(2)授業 46.1% [(2)42.3%]、(3)部活動 43.0% [(3)39.0%] の順であった。教員の評価は(1)授業 77.5% [(1)78.0%]、(2)学校行事 62.5% [(9)4.9%]、(3)学大連携 47.5% [(2)43.9%] の順。来校者の評価は(1)進学指導推進校 66.8% [(1)44.3%]、(2)英語教育推進校 56.5% [(2)41.3%]、(3)学校行事 47.8% [(2)44.0%] の順であった。

② 学習指導

- ・「満足できる授業が多い」は、生徒 75.9% [75.8%] は比較的高いが、保護者 61.9% 《18.0%》 [59.1% 《17.8%》] はやや高い程度である。教員 95.0% [95.1%]。
- ・「評価できる学習指導」では、生徒の評価は(1)JET による指導 37.2% [(1)49.6%]、(2)2年選択科目 29.1% [(2)28.3%]、(3)3年選択科目 26.6% [(4)24.9%] の順であった。保護者の評価は(1)2年選択科目 35.0% [(4)27.3%]、(2)講習・補習 30.2% [(2)29.6%]、(3)JET による指導 29.1% [(1)31.4%] の順であった。教員の評価は(1)JET による指導 57.5% [(1)61.3%]、(2)講習・補習 45.0% [(2)39.0%]、(2)3年選択科目 45.0% [(3)34.1%]

の順であった。来校者の評価は(1)JETによる指導 64.8% [(1)61.3%]、(2)自主学習支援 39.8% [(3)29.8%]、(3)講習・補習 37.8% [(2)33.7%] の順であった。

③ 特別活動

- ・「学校行事を通じた個性豊かな人間性の育成」は、生徒 87.7% [76.5%] は増加し高くなり、保護者 78.8% [53.5%] は激増し比較的高いレベルになった。教員 92.5% [73.2%] と増加した。
- ・「部活動満足度〔充実度〕」は、生徒 86.4% [83.9%] は高く、保護者 79.3% [72.1%] は微増し比較的高い。教員 90.0% [92.6%]。
- ・「学習と部活動の両立」は、生徒 65.3% [69.8%]、保護者 69.5% [64.2%] とともにやや高い。教員 75.0% [75.6%]。
- ・「評価できる学校行事」では、生徒の評価は(1)桜樹祭 71.2% [(1)50.2%]、(2)体育大会 51.6% [(5)37.6%]、(3)合唱コンクール 51.4% [(4)40.2%] の順であった。教員の評価は(1)合唱コンクール% [(1)70.7%]、(2)桜樹祭 77.5% [(2)51.2%]、(3)体育大会 67.5% [(4)29.3%] の順であった。保護者の評価は(1)桜樹祭% [(2)52.8%] (2)合唱コンクール 60.2% [(1)53.9%]、(3)体育大会 54.1% [(4)37.1%] の順であった。来校者の評価は(1)桜樹祭 76.5% [(1)69.5%]、(2)合唱コンクール 66.3% [(2)49.7%]、(3)体育大会 61.0% [(4)47.7] の順であった。
- ・「評価できる部活動」では、生徒の評価は(1)種類の数 39.5% [(1)36.6%]、(2)活動日数 34.1% [(2)29.7%]、(3)活動時間 32.8% [(3)29.5%] の順であった。保護者の評価は(1)活動時間 42.4% [(1)42.1%]、(2)活動日数 42.3% [(2)38.0%]、(3)種類の数 27.9% [(4)23.7%] の順であった。教員の評価は(1)顧問の指導 47.5% [(1)31.7%]、(2)活動日数 37.5% [(2)29.3%]、(3)種類の数 35.0% [(4)24.4%]・コーチ等の指導 35.0% [(5)22.0%] の順であった。来校者の評価は(1)種類の数 46.8% [(1)51.9%]、(2)活動時間 42.0% [(2)45.0%]、(3)活動日数 18.8% [(3)15.4%] の順であった。

④ 生活指導

- ・「マナー・ルールの遵守」は、生徒 97.3% [98.1%]、保護者 97.1% [94.1%] はいずれも非常に高く、来校者 87.0% 《13.0%》 [80.2% 《19.5%》] も高い。教員 100.0% [97.6%]。
- ・「いじめ防止に対する組織的な取組」は、生徒 85.7% [83.5%] は高いが、保護者 49.8% 《42.3%》 [48.4% 《41.9%》] は分からない割合が高い。教員 92.5% [95.2%]。
- ・「体罰・暴言のない指導」は、生徒 92.6% [91.4%] は非常に高く、保護者 77.0% 《18.4%》 [74.4% 《18.0%》] も比較的高い。教員 90.0% [92.7%]。
- ・「安全指導・防災教育の適切実施」は、生徒 89.3% [92.6%] は高く、保護者 64.8% 《28.1%》 [63.8% 《27.4%》] はやや高い。教員 82.5% [80.5%]。
- ・「生徒と向き合う適切な生活指導」は、生徒 89.7% [86.9%] は高く、保護者 74.4% 《18.9%》 [71.7% 《17.3%》] も比較的高い。教員 87.5% [85.4%]。

⑤ 進路指導

- ・「第一志望実現の支援」は、生徒 89.7% [88.5%] は高く、保護者 71.2% 《20.0%》 [63.9% 《19.4%》] は微増し比較的高くなった。教員 95.0% [90.2%]。
- ・「進路情報の提供」は、生徒 90.3% [90.4%] は非常に高く、保護者 79.0% [71.3%] と微増し比較的高くなった。教員 100.0% [90.2%]。
- ・「評価できる進路指導」では、生徒の評価は(1)進路の手引き 39.6% [(1)45.1%]、(2)各種ガイダンス・進路だより 38.5% [(2)34.1%]、(3)面談指導 32.8% [(3)31.1%] の順であり、保護者の評価は(1)各種ガイダンス・進路だより 50.5% [(2)43.2%]、(2)進路の手引き 42.1% [(1)46.5%]、(3)休業中の講習 22.0% [(7)14.5%] の順であった。教員の評価は(1)受験体験講話 62.5% [(6)31.7%]、(2)各種ガイダンス・進路だより 55.0% [(1)53.7%]、(1)各種ガイダンス・進路だより 53.7% [(3)40.0%]、(3)面談指導 52.5% [(3)41.5%] の順であった。来校者の評価は(1)スプリングセミナー 46.0% [(1)38.7%]、(2)大学模擬授業 36.0% [(2)35.0%]、(3)模擬試験

に基づく指導 30.8% [(3)31.1%] の順であった。

⑥ 保健指導

- ・「教育相談の環境整備」は、生徒 84.9% [81.4%] は高いが、保護者 65.8% 《19.7%》 [58.8% 《21.5%》] は微増しやや高くなった。教員 87.5% [73.2%] と増加した。
- ・「健康管理指導」は、生徒 91.2% [91.0%] は非常に高く、保護者 86.0% 《9.9%》 [73.9%] は増加し高くなった。教員 92.7% [95.0%] と増加した。
- ・「衛生・清掃状況」は、生徒 99.7% [86.4%] と増加し非常に高く、保護者 83.9% [86.0%] と高い。来校者 94.8% [93.6%] は非常に高い。教員 87.5% [97.5%] と減少した。
- ・「清掃が行き届いていない場所」では、生徒の評価は(1)更衣室 57.7% [(1)50.2%]、(2)廊下・階段 32.9% [(2)34.3%]、(3)トイレ 13.7% [(4)12.5%] の順で、行き届いているは 17.9% [23.1%] であった。保護者の評価は(1)廊下・階段 11.3% [(1)14.1%]、(2)更衣室 8.4% [(3)7.3%]、(3)トイレ 5.0% [(3)11.3%] の順で、行き届いているは 62.5% [61.6%] であった。教員の評価は(1)更衣室 60.0% [(2)29.3%]、(2)廊下・階段 52.5% [(1)61.0%]、(3)職員室・準備室 20.0% [(3)19.5%] の順で、行き届いている 10.0% [12.2%] であった。来校者の評価は(1)廊下・階段 4.8% [(2)2.0%]、(2)トイレ 4.5% [(3)1.2%]、(3)生徒昇降口 4.0% [(5)0.7%] の順で、行き届いているは 87.5% [73.4%] であった。

4 協議議員からの意見等

(1) 協議委員人数 9人

(2) 「学校がよくなった」と考える協議委員の回答（人数）

そう思う	多少 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答 (異動のため)
6	2					1

(3) 協議委員からの意見

- ・学校評価アンケートにおいて、生徒の「入学満足度」「学校生活の充実度」の項目の評価が高く、ほとんど満足している。一方、5～10%のあまりそう思わない等の否定的な意見を拾ってあげているのか。教員は100%肯定的な回答で、生徒とのギャップがある。子供達一人一人に対して目を行きわたらせることが大切であり、教員は忙しいがアンテナを高くする必要がある。
- ・生徒による授業アンケート等において、学習時間が短いという結果が出ている一方、生徒からは課題が多いという意見がある。
- ・進学指導推進校としてどのような方策で生徒の学力を向上させていくのか。
- ・学校評価アンケート全般において、肯定的な意見が多く、生徒は満足している。「教育相談の環境整備」「体罰・暴言のない指導」の項目の生徒と教員の回答が同じ結果であるが、保護者が低い。情報発信はできているのか。
- ・探究的な学び等が入ってきて、令和4年度から学習指導要領が変わるが、どのような取組を行うのか。
- ・オンライン授業の準備のために深夜まで教材作成をしていると言っていたが、働き方改革についてどのように取り組んでいるか。
- ・1か月の時間外勤務 80 時間は過労死ラインである。部活動指導員などを導入して超過勤務を減らしていく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で行事等に保護者が参加できなかったが、3大行事ができて良かった。
- ・学校見学会等で生徒が案内しているのは良い取り組みである。
- ・オンライン授業は生徒の反応が分からずやり辛いだろう。まして、ハイブリット方式は難しい。

- ・校則の見直しや生徒を活用した見学会などいい取り組みを行っている。生徒の成長につながる。
- ・学校評価を取り入れ、学校運営における改善に取り組む姿勢は素晴らしい。また、自動販売機の品目選定で生徒の意見を聞くなど素晴らしい。
- ・現場の苦労が分かった。新しい時代に適応できるようにしていく必要がある。コロナで一人一台端末をどのように効果的に使っていくか。小中で使っていたのが高校に入ってきたときにどのように授業を展開していくか。新しい授業の展開を考える必要がある。インターネットを活用して様々な考え方を学んでいくことが重要である。忙しいが、新たな教育に関心を持ってほしい。
- ・室内用スリッパを避難するときでも安全安心できるものが良い。また、高校3年間での生徒達の心の成長に寄り沿った教育活動を希望する。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・学校評価や授業アンケートなどを活用し、的確に課題を把握するとともに、学校経営の一層の改善を推進する。
- ・アンケートの実施方法や実施時期などを工夫し、保護者の回収率を高めていく。
- ・企画調整会議・学年会・教科主任会・教科会等の会議を時間割内に設定し、各種会議の時間短縮を図り、教職員の在校時間を縮減する。また、看護休暇・短期介護休暇や育児休暇の取得等の利用の推奨や業務の見直しなど、働き方改革を推進する。
- ・令和4年度都立高校ホームページリニューアル実施校として、Web ページを刷新し、分かりやすい形で、学校の魅力や特徴を積極的に発信する。
- ・中学校の学校行事を考慮して、広報活動の実施時期を検討する。また、計画的に情報を発信していく。
- ・新しい生活様式に基づき、感染症対策を講じた上で授業公開を実施する。

(2) 学習指導

- ・生徒による授業アンケートを活用する他、相互授業参観や校内研修を通して、組織的に授業改善に取り組み、学校全体の授業満足度を高めていく。また、指名制の授業見学や模範授業等への参加を促進し、その成果を各教科で共有させる。
- ・新学習指導要領の確実な実施に向けて、指導と評価の一体化を目指すとともに、カリキュラム・マネジメントを推進する。また、定期考査の共通化を進める。さらに、教科主任会を活用し、教科横断的な取組を推進する。
- ・課題(宿題)の成果と課題を検証し、精選された必須の課題や個々の生徒の状況に応じた選択的課題など、個別最適化された課題の付与にも取り組む。
- ・一人一台端末などPCを効果的に活用する。オンライン授業等を有効に活用し、ハイブリッド型の授業にも取り組んでいく。

(3) 特別活動

- ・各学校行事の実施内容や形態を見直し、いかなる状況でも実施できるよう準備を整える。また、生徒の主体的な企画・運営を支援する。
- ・東京学芸大学との高大連携事業において、講演やワークショップの在り方について一層改善を図る。事前・事後指導を行い、チーム・エデュケーションの取組を充実させる。
- ・海外学校間交流事業では、短期語学留学の実施を前提とした準備を進める。オンラインによる交流を定期的に実施する。
- ・学習と部活動の両立に向けて、活動時間・活動日数などメリハリある活動を促進する。また、部活動の加

入率を高めるとともに、外部指導員を活用するなど、充実を図り、活性化を支援する。

(4) 生活指導

- ・入学後直ぐに、SNSに関する指導が実施できるよう、講演会を企画する。
- ・選択授業を含め、日々の出欠状況を的確に把握し、生活規律の徹底を図る。
- ・保護者会等を通じて、策定した「学校いじめ防止対策」の周知に努める。校内研修を適切に実施し、体罰や暴言など不適切な指導のない学校づくりに学校全体で取り組む。
- ・計画的に保護者との面談を設定し、確実に周知し、実施する。
- ・全員面接を1学期中に終了させる。また、生徒情報を共有するための拡大学年会を計画的に実施する。加えて、専門医派遣事業による精神科医による学校相談活動を継続し、不登校や不適応生徒に丁寧に対応する。
- ・校内美化の取組について、清掃分担の見直しを図るなど、美化活動を徹底する。
- ・一人一人が自分の目標を設定して取り組むことができるよう指導する。

(5) 進路指導

- ・保護者会等を通じて「SNS家庭ルール」の策定を推奨する。また、部活動・行事準備期間の校内ルールを遵守し、学習と部活動との両立を図る。
- ・外部模試等を分析し、それに適応した学習計画を立案するとともに、適切な振り返りに取り組ませる。また、安易に受験科目数を減らさせない支援・指導を行う。大学入学共通テスト後に、志望校検討会を実施し、個別指導につなげる。
- ・教科主任会を計画的に実施し、組織的なPDCAサイクルを確立する。
- ・「総合的な探究の時間」の運営体制を整備する。また、探究の成果を総合型選抜等の受験に活用できるよう、生徒を支援する。

参考【学校評価の肯定割合の経年変化（過去10年間）】

問1. 生徒は、小金井北高校に入学して満足している（入学して良かった）。

	令和3	令和2	平成31	平成30	平成29	平成28	平成27	平成26	平成25	平成24
生徒	89.6%	85.3%	82.7%	71.0%	72%	69%	60%	54%	57%	74%
保護者	93.4%	88.9%	86.2%	85.4%	86%	85%	83%	83%	85%	83%
教員	100.0%	97.6%	95.0%							

問2. 生徒は、充実した学校生活を送っている。

	令和3	令和2	平成31	平成30	平成29	平成28	平成27	平成26	平成25	平成24
生徒	88.9%	87.8%	83.3%	83.7%	83%	85%	77%	75%	76%	80%
保護者	87.8%	84.1%	86.3%	87.3%	84%	87%	85%	84%	85%	86%
教員	100.0%	100.0%	92.5%							

問3. 生徒は、目標をもって高校生活を過ごしている。

	令和3	令和2	平成31	平成30	平成29	平成28	平成27	平成26	平成25	平成24
生徒	84.8%	83.2%	70.2%	71.2%	67%	72%	60%	58%	60%	62%
保護者	78.0%	74.2%	72.4%	75.6%	77%	76%	74%	74%	77%	80%
教員	97.5%	97.5%	92.5%							

問7. 学校は、生徒の悩みや相談に応える環境が整っている。

	令和3	令和2	平成31	平成30	平成29	平成28	平成27	平成26	平成25	平成24
生徒	84.9%	81.4%	77.8%	61.5%	61%	58%	53%	43%	42%	50%
保護者	65.8%	58.8%	53.9%	59.1%	52%	50%	52%	52%	48%	58%
教員	87.5%	73.2%	90.0%							